

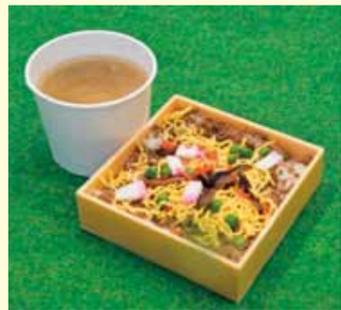


第29回 丹後半島駅伝大会

雨ニモマケズ

出場全56チームが 初冬の丹後路を熱走

この日、参加者のお腹を満たしたのは「丹後ばらすし」と「豚汁」。丹後ばらすしは丹後地方では八レの日のごつおう（ご馳走）として親しまれている。豚汁は地元丹後町婦人会のメンバー25名が総出で前日から支度、準備していたもので、大会関係者分を含めたその数770食。ごちそうさまでした。



◆USBONNACH

市、4区精華町と激しく変動するなか、5区で再び首位に立った京田辺市がそのままゴールテープを切りました。また、府民参加の部に出場の精華ACとMiyazu Fireは、全体5位、6位のタイムで大会を盛り上げました。なお、大会前日には「健康測定会」が公益事業として地域住民にも公開して行われ、延べ527人が測定を受けました。

大会結果は8ページその他大会の様子はホームページに掲載しています。

大会は10時30分、吉本大会会長の号砲で経ヶ岬をスタート。終始、雨風にさらされる中でしたが、前回より約7分早いタイムで全チームが完走しています。レースは、今大会から採用されたオリジナルたすきで出場した相楽消防Aが1区齊藤大輔選手（区間賞）の好走で首位に立つと、最後まで一度も首位を譲らない独走で2連覇を果たしました。一方、女子の部は、首位が1・2区南丹病院、3区京田辺

前日の快晴とはうって変わって、この日は早朝から雨が降り続く肌寒い中での開催となりました。その影響で、選手の集合場所でのゴール地点でもある間人小学校内のグラウンドは水浸しでした。開会式では吉本秀樹大会会長（厚生会理事長・伊根町長）の主催者あいさつの後、三崎政直京丹後市長、京都府知事（山内一京都府知事代理・京都府丹後広域振興局長）からあいさつをいただき、最後に選手宣誓で宇治田原町の松浦賢治・中井春花選手が「全力を尽くし、転ばず、怪我することのない様に無事に家に帰る」と誓いました。

平成28年11月27日（日）、第29回丹後半島駅伝大会が京丹後市丹後町で開催され、出場全56チームが完走しました。大会は自治体職員一般の部で相楽消防Aが2連覇、女子の部で京田辺市女子が優勝しました。